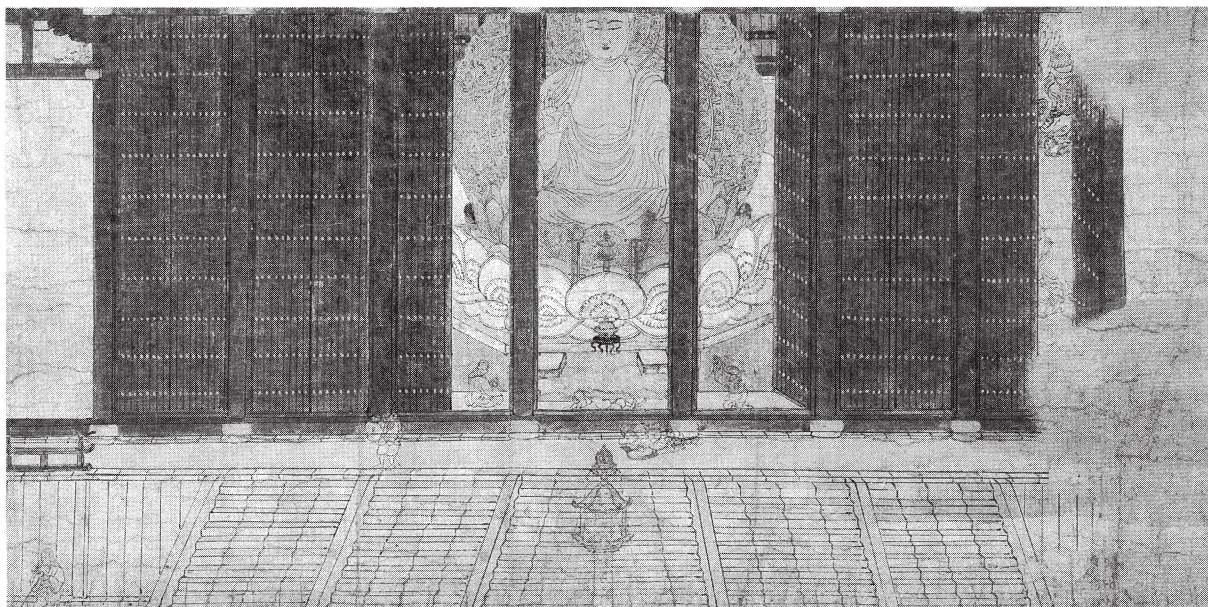


第37号

奈良 国立博物館 だより

平成13年4・5・6月



親と子のギャラリー

絵巻にしたしむ

西新館（南）

4月24日(火)～5月27日(日)

平常展

仏教美術の名品

本館・西新館

4月1日(日)～

特別出陳

唐招提寺 国宝木心乾漆薬師如来立像

本館

4月1日(日)～

*次回特別展予告

仏舎利と宝珠 ―釈迦を慕う心―

東・西新館

7月14日(土)～9月2日(日)

通例、春に行ってございました特別展は、本年に限り夏季に変更となりました。

特別出陳

薬師寺 重要文化財銅造薬師三尊像

西新館

4月1日(日)～

【写真解説】

国宝 信貴山縁起絵巻（朝護孫子寺）

修行僧の命蓮が信貴山にこもり様々な奇跡を行なった物語などを描いた絵巻。この第3巻では、幼くして別れた弟の命蓮を捜して、はるばる信濃国から東大寺に辿りついた老尼公が、東大寺大仏の夢のお告げにより、信貴山中の命蓮と出会うことになる。写真は、東大寺大仏前の有名な場面。

（親と子のギャラリー「絵巻にしたしむ」より）

奈良国立博物館は、4月1日より独立行政法人
国立博物館が設置する博物館となりました。
今後とも変わらぬご支援をお願いします。

親と子のギャラリー

絵巻にしたしむ

西新館（南） 4月24日(火)～5月27日(日)

絵巻物は、詞と絵とを右から左へと交互に繰り広げながら鑑賞する形式の絵画で、経典の内容を描いた経絵、その土地に現れた仏の霊験を描いた縁起絵、仏教の祖師や高僧の伝記を描いたものなど、さまざまな種類のものがあります。

この親と子のギャラリーでは、わが国で描かれた著名な絵巻物を取りあげ、うつくしい絵巻と、そのもとになった物語や記録類を比較展示することによって、絵巻を見る楽しみを知っていただくとするものです。絵巻物を通して、わが国の伝統的な美術の魅力を感じていただければ幸いです。

出陳品 絵画10件、経典等10件（うち国宝9件・重要文化財9件）



●華嚴五十五所絵巻（東大寺）

平常展

仏教美術の名品

本館 4月3日(火)～

西新館 4月3日(火)～6月24日(日)

本館では、飛鳥時代から鎌倉時代に至る仏像を中心とした日本彫刻、及びその源流ともいべきガンダーラや中国などの諸作品を幅広く紹介しています。西新館では、仏教美術の名品を絵画・書跡・工芸・考古のジャンル別に展示しています。多数の国宝・重要文化財を含む名品が百点以上含まれており、随時展示替えも行なっています。なお、西新館は、4月16日～4月23日（南ギャラリーのみ）ならびに6月25日～7月13日に、展覧会準備のため閉室いたします。

◆開館時間・無料観覧日の変更◆

4月より下記の通り変更となりますので、お間違えのないようお願いいたします。

開館時間

- ・開館・閉館の時間が、いずれも30分遅くなります（9時30分～17時、入館16時30分まで）。
- ・1月の第2月曜日の前日、節分の日、3月12日、8月15日、12月17日は、開館時間を延長し、19時まで開館します（入館18時30分まで）。
- ・4月最後の金曜日（平成13年度は4月27日）から11月の第2金曜日までの金曜日は、19時までの開館となります（入館18時30分まで）。

無料観覧日（平常展のみ）

- ・無料観覧日に変更となり、5月5日、9月15日が無料となります。
- ・小・中学生の無料観覧日を拡充し、毎週土曜日を無料とします。

◆奈良国立博物館友の会カードの発行について◆

4月より従来の友の会制度が変更となり、新たに下記の友の会カードを発行いたします。

特典（登録者ご本人のみの特典）

- ・奈良・東京・京都国立博物館の平常展を無料でご観覧いただけます（特別展・共催展等は各展1回限り）。
- ・当館のミュージアムショップで当館発行の展覧会目録（共催による展覧会目録を除く）を各1部、1割引きで購入できます（奈良国立博物館のみで有効）。
- ・平成13年4月、5月の販売分には記念品を贈呈いたします（記念品の数に限りがありますので、お早めに）。

販売方法

- ・4月1日(日)以降、奈良国立博物館新館の観覧券売場で随時販売します。その際、申込書等に必要事項を記入願います。開館日にはいつでも購入いただけます（販売時間は、閉館30分前まで）。

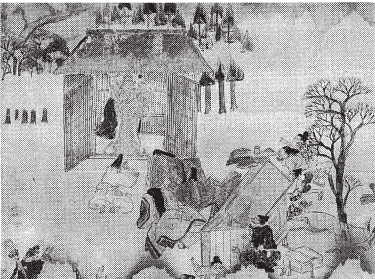
料金 年間3,000円（従来の「学割」は廃止します。）

通用期間 購入時から翌年同月の末日まで。

*お問い合わせ先 学芸課企画室 電話 0742-22-7774（月～金曜日の9時から17時まで）

親と子のギャラリー 「絵巻にしたしむ」 西新館（南）

●三宝絵詞〈文永十年八月八日書写奥書〉(東京国立博物館)、◎絵因果経(当館)、●華嚴五十五所絵、◎額装本華嚴五十五所絵、◎紺紙金字華嚴経卷六五〈童子〉・卷六七〈童子〉・卷六八〈観音〉・卷六九〈天部〉(以上東大寺)、●地獄草紙(当館)、●紺紙金字起世経卷二・卷三(金剛峰寺)、●玄奘三蔵絵卷四・卷五(藤田美術館)、◎紺紙金銀字大唐西域記卷三・卷六(東京国立博物館)、◎紙本墨書大慈恩寺三蔵法師伝卷二・卷三(興福寺)、聖徳太子絵伝(個人)、●上宮聖徳法王帝説(知恩院)、◎聖徳太子伝暦(本願寺)、●一遍聖絵十二卷の内巻一(歓喜光寺)、●信貴山縁起絵(朝護孫子寺)、◎古本説話集(東京国立博物館)、信貴山資財宝物帳(朝護孫子寺)、●粉河寺縁起絵(粉河寺)、◎粉河寺大率都婆建立縁起十八帖の内一帖(醍醐寺)、◎伊勢物語絵(和泉市久保惣記念美術館)



●粉河寺縁起絵（粉河寺）

特別出陳　本館

●薬師如来立像（唐招提寺金堂）

特別出陳　西新館

◎薬師三尊像（薬師寺講堂）

平常展 「仏教美術の名品」 本館・西新館

本館

【彫刻】第1室　飛鳥～奈良時代の彫刻　◎脱活乾漆・木造梵天立像、◎乾漆・木造伝救脱菩薩立像(以上秋篠寺)、●木心乾漆義淵僧正坐像(岡寺)、◎木心乾漆阿閼如来坐像(西大寺)、◎銅造光背(東大寺)、●脱活乾漆舍利弗立像、●脱活乾漆目犍連立像、●脱活乾漆緊那羅立像(以上興福寺)、◎木造菩薩立像(金竜寺)、◎銅造法華説相図(長谷寺)、銅造観音菩薩立像(当館)、◎木造十一面観音立像(薬師寺)、◎木造西大門額(東大寺)、◎誕生釈迦仏立像(正眼寺)、◎誕生釈迦仏立像(悟真寺)、誕生釈迦仏立像(林法寺)、誕生釈迦仏立像(個人)

第2・3室　平安・鎌倉時代の彫刻　◎木造阿弥陀如来立像(浄土寺)、◎木造十二神将立像(九軀)(東大寺)、●木造行賀上人坐像(興福寺)、◎木造重源上人坐像(浄土寺)、◎木造十一面観音立像(元興寺)、◎木造千手観音立像(妙法院)、●木造薬師如来立像(元興寺)、◎木造薬師如来坐像、木造如来立像(以上当館)、◎木造吉祥天立像(法明寺)、◎木造十一面観音立像(薬師寺)、◎木造聖観音立像(観心寺)、◎木造千手観音立像(園城寺)、◎木造十一面観音立像(勝林寺)、◎木造十一面観音立像(地福寺)、◎木造観音菩薩立像(セゾン現代美術館)、木造菩薩立像(当館)

第4～6室　ガンダーラ・中国・韓国の彫刻　<ガンダーラ>石造如来立像、石造菩薩立像、ストゥッコ如来頭部、ストゥッコ如来坐像、ストゥッコ菩薩立像、ストゥッコアトラス像、石造貴婦人群像、石造仏伝図浮彫(提婆達多の暗殺失敗・涅槃)、石造仏伝図浮彫(舍利八分)(以上個人)、<中国>銅造仏三尊飾板、銅造菩薩坐像、銅造力士立像、◎木造諸尊仏龕(以上個人)、銅造二仏並坐像(当館)、銅造誕生釈迦仏立像(個人)、方形独尊坐像埵仏、方形阿弥陀三尊埵仏、方形独尊埵仏(以上当館)、多宝塔埵仏、石造如来頭部〈雲岡〉、石造菩薩頭部〈鞏県〉、石造如来頭部〈天龍山〉、石造菩薩半跏像(以上個人)、◎乾漆力士立像(当館)、石造仏五尊碑像、石造仏立像、石造仏浄土碑群像、◎石造三尊仏龕(以上個人)、<朝鮮半島>銅造如来立像(光明寺)、銅造如来立像(当館)

第7～13室　日本彫刻の諸相　木造十一面観音立像(奈良・広瀬区)、◎木造観音菩薩立像(本山寺)、◎木造十一面観音立像(海住山寺)、◎木造弥勒仏坐像(東大寺)、木造舞楽面・胡徳楽(個人)、◎木造舞楽面・胡飲酒、◎木造舞楽面・地久、◎木造舞楽面・胡徳楽勸杯、◎木造舞楽面・胡徳楽瓶子取(以上手向山八幡宮)、◎行道面(浄土寺)、銅造釈迦如来立像(当館)、◎銅造菩薩半跏像(神野寺)、◎銅造菩薩立像(法起寺)、◎銅造観音菩薩立像(金剛寺)、◎銅造菩薩半跏像(東大寺)、銅製押出仏(当館)、◎銅造観音菩薩立像(法隆寺)、◎銅造薬師如来立像(般若寺)、銅造菩薩立像(興福院)、銅造観音菩薩立像(仏像型)(個人)、木造阿弥陀如来立像(個人)、木造阿弥陀如来立像(個人)、木造阿弥陀如来及両脇侍立像(峰定寺)、木造弥勒菩薩立像(林小路町)、◎木造地藏菩薩立像(春覚寺)、◎木造飛天像(興福寺)、木造南無仏太子立像(西大寺)、◎木造聖徳太子立像(成福寺)、◎木造大黒天立像(興福寺)、◎木造十二神将立像〈辰神・未神〉(室生寺)、木造愛染明王坐像、木造如意輪観音坐像、木造地藏菩薩立像、木造十一面観音立像(以上当館)、木造蔵王権現立像(個人)、◎銅造蔵王権現立像(大峰山寺)、木造伊豆山権現立像(当館)、木造大將軍神坐像(大將軍八神社)、●木造八幡三神坐像(薬師寺)、木造男女神像、◎木造狛犬(以上当館)、◎木造地藏菩薩立像(東大寺)、◎木造地藏菩薩立像(長命寺)、◎木造不動明王坐像(正寿院)、銅造不動明王立像(天ヶ瀬組)、◎木造増長天立像(称名寺)、◎木造増長天立像(法明寺)、木造毘沙門天立像(当館)、木造大日如来坐像(元興寺町)、◎木造地藏菩薩立像(称名寺)、木造大將軍神倚像(当館)、木造大日如来坐像(西城戸町)、木造仏頭(松尾寺)、木造菩薩頭(松尾寺)、木造阿弥陀如来坐像、木造地藏・龍樹菩薩坐像(以上当館)

西新館

【絵画】4/3～4/15　◎釈迦八相図(大福田寺)、◎仏涅槃図　陸信忠筆(当館)、◎法華経宝塔曼荼羅　第六・七・八幅(立本寺)、◎十六羅漢像(宝厳寺)、◎華嚴五十五所絵(東大寺)、●一遍聖絵〈第二卷、第二・三段〉(清浄光寺・歓喜光寺)、◎法然上人絵伝〈第十卷、第二・三〉(奥院)、●両界曼荼羅〈子島曼荼羅〉胎蔵界(子島寺)、◎一字金輪曼荼羅、◎五大明王像(以上当館)、◎毘沙門天像(知恩院)、◎如意輪観音像(当館)、●十二天像〈日天〉(西大寺)、◎九品

来迎図〈上品上生・下品中生〉(瀧上寺)、◎阿弥陀如来像(西教寺)、◎地藏菩薩像(知恩院)、●六道絵〈人道不浄相〉(聖衆来迎寺)

5/30～6/24　◎阿弥陀五尊像(一乗寺)、◎阿弥陀来迎図(阿日寺)、◎阿弥陀聖衆来迎図〈迅雲来迎〉(西教寺)、◎阿弥陀来迎図(宝厳寺)、二河白道図(薬師寺)、◎釈迦阿弥陀発遣来迎図(雲辺寺)、◎地藏十王像(能満院)、十仏十王像(当館)、●六道絵〈黒縄地獄・阿鼻地獄〉(聖衆来迎寺)、●一遍聖絵〈第三卷、第一段〉(清浄光寺・歓喜光寺)、不動儀軌(当館)、●両界曼荼羅〈子島曼荼羅〉金剛界(子島寺)、◎五大虚空蔵像(大覚寺)、◎十一面観音像(能満院)、馬頭観音像(西大寺)、烏枢沙摩明王像(当館)、◎善女竜王像(大通寺)、●十二天像(伊舍那天)(西大寺)、◎天台高僧像(伝教大師・慈覚大師)(一乗寺)、◎真言八祖像〈一行・弘法大師〉(神護寺)、◎道宣律師像(当館)、◎法燈国師像(興国寺)

【書跡】4/3～4/30　●唐人送別詩並尺牘、●開元寺求法目録、●金光明經文句卷下(以上園城寺)、◎色紙法華経(当館)、●一字蓮台法華経(龍光寺)、◎紺紙金字一字宝塔法華経(当館)、◎法華経序品(宝厳寺)、◎法華経(長谷寺)5/2～5/27　◎門葉記(当館)、◎叡尊自筆書状、西大寺乗範書状、西大寺乗範置文案(以上西大寺)、◎大毘婆沙論卷第廿三〈五月一日経〉(東大寺)、自在王菩薩経(五月十一日経)(海龍王寺)、◎増一阿含経卷第五十(薬師寺)、須真天子経(東大寺)、法華経卷第二、紺紙金字金剛三昧経(神護寺経)(以上当館)、◎大般若経(七寺)、大般若経(長弓寺)

5/29～6/24　◎星尾寺縁起、◎高弁夢記(以上高山寺)、◎神護寺如法執行問答、神護寺交衆任日次第(以上当館)、瑜伽師地論卷第十六〈五月一日経〉(個人)、◎大般若経〈魚養経〉(薬師寺)、紺紙金字法華経卷第七(興聖寺)、紺紙金字法華経卷第七、大般若経卷第百七十四・百七十八、大般若経卷第四百二〈源豪一筆経〉(以上当館)、般若心経(海住山寺)、版本大般若経卷第三百六十五(当館)

【工芸】◎十二尊鏡像(細見美術財団)、◎阿弥陀如来鏡像、蔵王権現鏡像、◎熊野十二社権現懸仏(以上当館)、金銅輪宝羯磨文透彫幡(個人)、◎金銅種子華鬘(当館)、金銅透彫華篋(神照寺)、●金銅密教法具(厳島神社)、◎銅鏡(円福寺)、金銅独鈷杵(当館)、金銅三鈷杵(個人)、金銅五鈷杵、金銅五鈷四大明王鈴(当館)、◎金銅四天王鈴(弥谷寺)、金銅火舎、金銅華瓶、正倉院宝物模造〈正倉院宝庫模造・洞簫・天平筆・新羅墨・白石火舎〉(以上当館)、●金銅透彫華鬘(金色院)、散蓮華文螺鈿卓(当館)、◎金銅独鈷鈴、◎金銅三鈷鈴(以上個人)、金銅五鈷鈴(当館)、◎金銅宝珠鈴(個人)、金銅塔鈴(当館)

4/3～4/30　刺繍阿弥陀三尊来迎図(個人)、三脚卓、銅三鈷杵〈古式〉(以上当館)、銅三昧耶鈴(金峯山寺)、金銅五鈷鈴、金銅三鈷杵、金銅羯磨、黒漆塗磬、孔雀文磬(以上当館)

～5/27　十一面観音懸仏、◎山王十社本地懸仏、刺繍阿弥陀三尊来迎図(中宮寺)、王子形水瓶、王子形水瓶(以上当館)、王子形水瓶(細見美術館)、王子形水瓶、仙蓋形水瓶、布薩形水瓶(以上当館)

5/29～　蔵王権現懸仏(個人)、◎山王十社本地懸仏(細見美術財団)、刺繍種子阿弥陀三尊像(禅林寺)、◎金銅輪宝羯磨文戒体箱(金剛寺)、◎黒漆蒔絵戒体箱(万徳寺)、◎五獅子如意(東大寺)、◎金銅宝相華文如意(当館)、銅錫杖(施福寺)、銅錫杖（当館）

【考古】隅木蓋瓦〈伝上野廃寺出土〉、風鐸〈伝上野廃寺出土〉(以上当館)、◎風鐸〈山村廃寺出土〉(円証寺)、蓮花文鬼瓦〈山村廃寺出土〉(個人)、蓮花文鬼瓦〈奥山久米寺出土〉、鬼瓦〈伝薬師寺出土〉(以上京都国立博物館)、◎鬼瓦〈大安寺出土〉、鬼瓦〈秋篠寺出土〉(以上個人)、鬼瓦〈伝中山瓦窯出土〉(当館)、◎石製九輪〈山村廃寺出土〉(円証寺)、◎栗原寺伏鉢〈談山神社〉、瓦塔〈三ヶ日町出土〉(当館)、◎東大寺金堂鎮壇具(東大寺)、靈安寺塔跡出土鎮壇具、◎山代忌寸真作墓誌、行基墓誌残欠(以上当館)、◎青磁鉢(正暦寺)

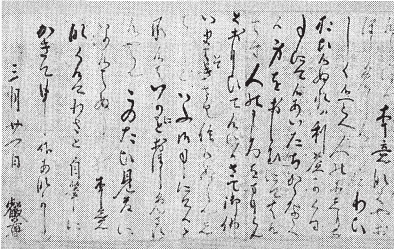
～4/15ならびに5/30～　◎朝熊山経塚遺物(金剛証寺)、◎銅経筒・滑石外筒、銅経筒(以上当館)、◎藤原道長願経(金峰神社)、紙本朱書法華経〈伝大分県出土〉(当館)、◎銅板経〈大分・長安寺経塚出土〉(長安寺)、瓦経、青石経、泥塔経、◎伝福岡県出土経筒〈永久4年銘〉付如来像、◎長崎・鉢形嶺経塚出土弥勒如来像(以上当館)

～4/15　金銅宝幢形経筒、金銅厨子形経筒、経塚遺物(以上当館)

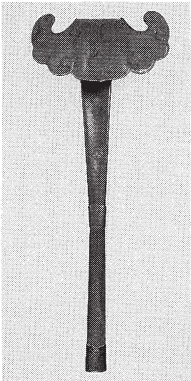
5/30～　伝愛媛・北条市出土陶製経筒、和歌山・粉河経塚出土品、伝和歌山・白浜経塚出土品(以上当館)



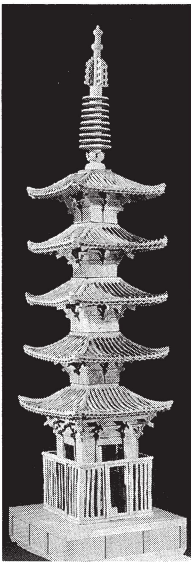
●六道絵〈人道不浄相〉(部分)(聖衆来迎寺)



◎叡尊自筆書状（西大寺）



◎五獅子如意（東大寺）



瓦塔〈静岡・三ヶ日町出土〉(当館)



平成12年度の「親と子の文化財教室」を終えて

奈良国立博物館主催の「親と子の文化財教室」は、小学5・6年生、中学生及びその保護者を対象として、第2(一部第4)土曜日に年間8回実施しました。今年度は「鎌倉時代の歴史と美術」について学習したわけですが、地元奈良市や生駒市をはじめ、京都、大阪や遠く滋賀県からも参加をいただき、総計99名の教室となりました。

この文化財教室に参加された理由は様々なようですが、学芸員による興味深い話や貴重なスライド写真、そして何より実物を前にして歴史の重みを感じ取れることが魅力のようです。歴史の学習を進めるうえで、地域の身近な歴史や文化財に親しめることはとても大切であり、子どもたちの感性を培うことにもなります。そういう意味で当館としても、文化財教室が子どもたちにとって、楽しく有意義なものとなるよう、一層工夫していきたいと考えています。

それでは、5月と12月に実施した現地見学などの様子を簡単に紹介したいと思います。

第1回目の現地見学では、観光客でにぎわう東大寺南大門と興福寺国宝館を訪れました。当館学芸員の説明を受けながら、南大門の壮大な建築美や男性的な力強いポーズをとる「金剛力士像」の姿などに見入りました。参加者の子どもたちからは、「講師の説明がていねいで、鎌倉時代の仏像の特徴がよくわかった。」「金剛力士像をじっくり見る事ができた。」などの感想を、また保護者からは、「親子のふれあいを高めることができた。」「自分の目で見ること、感じることの大切さをこの現地見学で学べた。」との声をいただきました。

第2回目の現地見学は京都・三十三間堂で実施し、前回と同様に多くの参加をいただいて、大変充実したものとなりました。堂内に安置されている丈六の本尊千手観音坐像と千体千手観音像に圧倒され、本堂の建築のすばらしさも実感することができたといえます。子どもたちも底冷えする堂内で、一生懸命講師の説明に耳を傾けている姿が印象的でした。「三十三の意味がわかって、うれしかった。」「千手観音の手の向きが微妙に違っていたのが、面白かった。」といった感想が聞かれました。



見学会の様子(京都・三十三間堂)

文化財教室の第8回目(最終回・2月)は、私(宮田)が担当させていただきました。鎌倉時代のまゝとめとして、2001年のNHK大河ドラマ「北条時宗」をヒントにしながら、「鎌倉幕府と武士の社会」のイメージをつかんでほしいと思いました。



(背面)

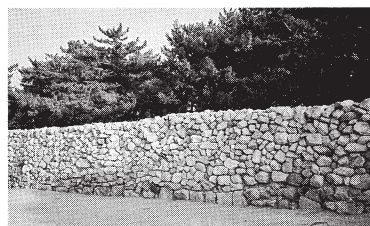


鎌倉大仏(前面)

その教室に先立ち、資料収集のために、昨年末から1月にかけて鎌倉市と福岡市を訪ねてみました。鎌倉では鶴岡八幡宮や円覚寺、建長寺など源氏や北条氏にゆかりの深い地と、鎌倉の七切通しの一つ名越坂を歩きました。さらに高德院では、鎌倉大仏の体内に入って鑄造の様子を観察してみました。やはり現地におもむいて、自分の足で歩き(私の場合、走りますが)、目で確かめたり、さわってみたりして得られる情報が、けっこう面白いようです。その時感じた疑問や小発見を大事にしながら、学習の糸口として子どもたちに返していくようにしました。

福岡(博多)では、元寇にまつわる史跡、とりわけ博多湾沿いを一日駆けめぐりました。元軍の再来に備えて築かれ、現在にまでその姿を残す防塁や、元軍が着けてい

たと伝えられる鎧・兜を目の当たりにし、当時の様子が彷彿としてくるようでした。



博多湾の防塁跡(生の松原)

最終回の教室でお願いした子どもたちのアンケートには、「仏像をつくったり、絵を描いたりした人は、何を考えていたのかをもっと知りたい。」「6年生になって、歴史を勉強するのが楽しみです。」と書いてくれました。今後も、この文化財教室をきっかけに、子どもたちのこうした気持ちや意欲をさらに育んでいくことができればと考えています。

(奈良国立博物館 学習普及専門官 宮田 康和)

◆ギャラリートーク

4月11日(水)	南大門の仁王像	仏教美術研究室長	松浦正昭
5月5日(土)	信貴山縁起絵について	学芸課長	梶谷亮治
5月9日(水)	叡尊の手紙〈生誕800年を記念して〉	資料管理研究室長	西山 厚
5月12日(土)	絵巻のたのしみ	美術室長	中島 博
6月14日(水)	鎮壇具について	仏教美術資料研究センター長	井口喜晴

○原則として毎月第2水曜日に実施しますが、5月には「親と子のギャラリー」にあわせて追加開催します。いずれも午後2時より。陳列室（4月11日のみ学習室）にて。入館者の聴講自由。

◆「親と子の文化財教室」（前期）受講者募集

小学5・6年生と中学生、その保護者を対象にした教室です。今年度(前期・後期)は『飛鳥時代の歴史と美術』をテーマに勉強します。※9月以降に、後期として第5回～第8回を予定しています。

前期日程	第1回	5月12日(土)	【現地見学】石舞台と飛鳥寺	仏教美術研究室長	松浦正昭
				仏教美術資料研究センター長	井口喜晴
	第2回	6月23日(土)	飛鳥時代の寺院	研究員	高橋照彦
	第3回	7月14日(土)	飛鳥時代の彫刻	研究員	稲本泰生
	第4回	8月11日(土)	飛鳥時代の絵画	美術室長	中島 博

○はがきに、「親と子の文化財教室参加申込」と記入の上、氏名・住所・郵便番号・学校名・学年・電話番号・同伴する保護者の氏名・参加を希望される月日(いくつでもかまいません)を必ず記入して、〔〒630-8213奈良市登大路町50 奈良国立博物館 教育室〕まで、お申し込みください(FAX可)。

○参加費は無料ですが、現地見学地では見学・拝観料金が必要です。定員は100名(先着順)です。会場は現地見学を除き、当館講堂において午前10時から12時まで行います。

◆ボランティアによる解説（ご案内）

○ボランティアによる解説を、開館日の10:30～、11:30～、14:00～、15:00～の時間帯に展示室で行っています。解説に要する時間は、入館者(個人・グループは問いません)のご希望に応じ、対応させていただきます。特に、20名以上の団体やグループ等で入館され解説を希望される場合は、ご予約をお願いします。

○学校行事(修学旅行・校外学習等)や研修会等で入館される団体には、講堂や学習室でコンピュータ画像を使って「ぶつぞう入門」(約30分)・「奈良の九社寺と仏像」(約50分)をボランティアがわかりやすく解説します。この二つを自由に組み合わせることができますので、事前にご相談のうえ、ご予約をお願いします。ご予約・お問い合わせは教育室 宮田〔電話0742-22-7008〕まで。

開館時間 9時30分から17時まで(入館16時30分まで)

4月最後の金曜日(4月27日)から11月の第2金曜日までの金曜日は、19時まで開館(入館18時30分まで)

休館日 月曜日(ただし、4月30日(月)は開館、5月1日(火)休館)

観覧料金 毎週土曜日は小・中学生無料。5月5日は無料観覧日(平常展のみ)。

平常展		大人	高・大生	小・中生
	一般	420円	130円	70円
	団体	210円	70円	40円

*団体は責任者が引率する20名以上。特別陳列は平常展料金でご覧いただけます。

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し、返信用封筒(80円切手貼付、宛名明記)を同封して、当館の企画室にお申し込み下さい。